



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和5年12月

大変お世話になりました

2学期は、運動集会や校外学習等、様々な教育活動を行うことができました。また教養講座や親子ふれあい活動等の特別な企画から常時活動まで、保護者や地域の方々からは、たくさんの支援と元気をいただきました。子供たちが様々な機会に、多くの経験を積むことができたのも保護者・地域の皆様の温かいご支援とご理解のおかげです。本当にありがとうございました。もうすぐ始まる冬休み、子供たちも、ご家族や地域の方々も、心温まる楽しい時間をたくさん過ごしていただけたら幸いです。



子供たちにとって楽しい学校

12月中旬に第2回目の学校評価アンケートを行いました。その中の「学校は楽しいですか」という設問に対する子供たちの回答結果を以下の表に示します。

数値：％	◎		○		△		▼	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
全体	59	65	32	26	7	6	1	3
1年	84	84	12	12	4	4	0	0
2年	68	61	25	25	6	10	1	4
3年	53	65	37	31	9	1	1	2
4年	66	78	27	17	5	6	1	0
5年	53	56	35	33	9	6	2	5
6年	33	41	54	42	11	11	2	5

全体の結果を1学期と比べると「すごく楽しい」「全く楽しくない」の2つの回答が共に増えるという両極端な結果となりました。確かに楽しいと言い切れる子供の増加は嬉しいことですが、50人（6%+3%）ほどの子供にとって「学校が楽しい場所とは思えない」というのは重い事実として受け止めなくてはなりません。

9月の学校だよりで「子供たちの心の居場所を創ること」「自分たちで楽しさを見付け、創り出す力を育くむこと」の2つに努めるとお伝えしました。保護者や地域の方々からの温かいご支援、ご協力を得ながら、学校は普段の授業はもちろん、様々な教育活動の機会に、この2つを意識し努力してきました。確かにうまくいった部分もありそうですが、指導や支援が十分でない子供がまだまだいて、その子供たちに合わせた対応の工夫がさらに必要であるということも明らかになりました。

学校は今後、「2学期に手応えのあった取組を継続、進化させること」「課題のあった点を明らかにし、解決のための仮説をたて、改善に取り組むこと」を行い、3学期も「子供たちの心の居場所を創ること」「自分たちで楽しさを見付け、創り出す力を育くむこと」の2つを大切に、一人でも多くの子供にとって楽しい学校を創れるよう、取り組んでまいります。それには保護者、地域の皆様のご理解とご協力が必要です。これまで同様、学校への温かい応援、よろしくお願いいたします。

